

とうきよ

学校訪問

特色ある活動紹介



質問「世界の砂漠化はどれくらいの速さで進んでいますか？」

答え「1年間で約6

万平方キも砂漠化が進んでいます。砂漠化が進むと食糧問題などが起き、民族間の対立にもつながります」

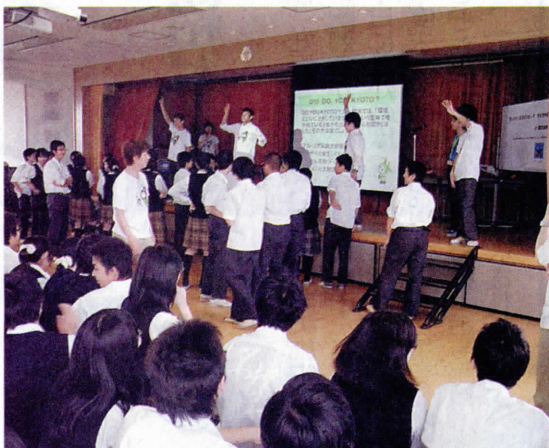
質問「西京高の昨年度の電気代はいくらでしょうか？」

答え「約2000万円です。昨年1年間の電力使用量は約100万キワット時で、これは一

般家庭の200〜300世帯に相当。10%の値上げで200万円も増えるのです」

京都市立西京高校(中京区)でこのほど「環境シンポジウム」が開かれ、1年生約280人が参加した「びっくり! エコリンピック」クイズ大会などが繰り広げられた。高校生自らがクイズの質問をつくることで、環境やエネルギー問題への理解を深めた。

環境シンポジウム



クイズ大会で盛り上がった「環境シンポジウム」＝京都市中京区の市立西京高で

京都市と民間が協力して太陽光発電設備を運営する「市民協働発

電制度」第1号となる太陽光パネルが今年3月、同校屋上に設置さ

京都市立西京高校

クイズ形式で理解深める

れたのを記念し、発電施設を運営する一般社団法人・びっくりエコ発電所(中京区、代表理事＝高月紘・京都大名誉教授)と共同でシンポジウムを企画。地球物理学者で、同発電所理事でもある尾池和夫・京都造形芸術大学長が基調講演で「自然エネルギーには太陽光や風力、地熱、海洋などさまざまな種類がある。それぞれの特徴を知ったうえで日本にとって未来のエネルギー

がどうあるべきかを考えてほしい」と問いかけ、生徒から「風力発電は日本には向いていないと先生が言うのは、なぜですか」と質問がでるなど世代を超えた議論が交わされた。

生徒実行委員会の木岡輝さんは「準備を通じていろいろなることを知ることができた。一人一人ができることは小さくても、積み重なれば大きくなる。学んだことを掘り下げ、環境やエコについて発信していきたい」と話していた。【榊原雅晴】